

一般社団法人 日本薬学教育学会 第1回理事会 議事録

開催日時：2023年7月25日（火）15：00～17：00

開催場所：WEB会議システム（ZOOM）による開催

理事：乾 賢一、中村明弘、有田悦子、入江徹美、木内祐二、小佐野博史、高橋一栄、
武田香陽子、長谷川洋一、平田収正、松浦正佳、三浦典子

監事：林 正弘

<欠席> 理事：石川さと子、鈴木 匡、山田成樹

監事：亀井美和子

事務局：村上 聡、横川和代

議事に先立ち、定款第35条第2項に基づき、議事録には乾理事長と林監事が署名又は記名押印することが確認された。

議事：

1. 前回理事会議事録案について（承認事項）

中村副理事長より2023年度第1回理事会の議事録（案）に基づいて議事の概要が報告され、議事録として承認された。

2. 2022年度事業報告について（協議事項）

中村副理事長より2022年度事業報告書が資料に基づいて説明され、社員総会に備えて7月31日までに内容を確認することが依頼された。

3. 2022年度決算報告について（協議事項）

財務担当の長谷川理事および事務局より2022年度決算が資料に基づいて報告され、林監事から監査報告が行われた。収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録および監査報告書を社員総会の資料とすることが承認された。

4. 2023年度事業計画（案）について（協議事項）

中村副理事長より2023年度事業計画（案）が資料に基づいて説明され、社員総会に向けて追加修正等があれば7月31日までに事務局に連絡するよう依頼された。

大会とは別の新企画としてシンポジウムあるいはワークショップの定期的な開催が提案され、2023年度の事業計画に組み入れて予算計上することとした。

5. 2023年度収支予算（案）について（協議事項）

事務局より2023年度の収支予算（案）が資料に基づいて説明された。財務担当理事を中心に事業計画との整合性を確認し、変更が必要であれば7月31日までに事務局に連絡するよう依頼された。

6. 業務委託契約書の更新について（協議事項）

学会支援機構への業務契約の更新に際し、事務局より変更点として会員管理費と学会誌送料の改定が資料に基づいて説明され、業務委託の更新が承認された。

7. 第8回総会の議事案件・シナリオについて（協議事項）

8月20日（日）に開催する2023年度社員総会の議事次第が資料に基づいて確認された。今

後、中村副理事長が議事進行のシナリオを確認することとした。必要に応じて8月18日（金）の役員懇談会で社員総会の打合せを行う。

8. 第8回大会の準備状況について（報告事項）

入江理事より第8回大会の準備状況が報告された。特別講演1件、シンポジウム14件、ワークショップ9件、一般演題104題で、参加登録は250名程度となっている。学会賞の受賞講演が1題となったので、アントレプレナーシップをテーマとした特別シンポジウムを企画した。開会式では文部科学省と厚生労働省から挨拶をいただくことになっている。大会翌日の8月21日（月）には国際化委員会と熊本大学の共同主催でサテライトシンポジウム「薬学教育および薬剤師職能の動向に関する国際シンポジウム」を熊本大学薬学部で開催する。参加費は無料で、オンラインでも参加できるハイブリッド形式で、録画するので後日の視聴も可能である。

9. 第9回大会の大会長の選任について（協議事項）

第9回大会開催校である東京薬科大学の袴田茂樹薬学部長を大会長として選任し、社員総会に諮ることとした。

10. 第9回大会の準備状況について（報告事項）

三浦理事より第9回大会を2024年8月17日（土）・18日（日）に東京都八王子市の東京薬科大学のキャンパスにおいて「薬学教育におけるプロフェッショナリズムとは」をテーマに開催することが報告された。

11. 第10回大会開催校について（協議事項）

乾理事長より2025年度の第10回大会の開催校として帝京平成大学薬学部が提案され、承認された。

12. 「日本保健医療福祉連携教育学会 第16回学術集会」について（報告事項）

総務担当の長谷川理事より、日本保健医療福祉連携教育学会からの第16回学術集会の後援依頼およびパネルディスカッションの共催依頼を、本学会の内規に基づいて承認したことが報告された。

13. 日本学術会議協力学術研究団体の新規指定申請について（協議事項）

乾理事長より日本学術会議協力学術研究団体としての指定を受けることが提案され、学会として一定のステータスが得られるので新規指定申請を行うこととした。事務局で手続きを進めるが、審査には1年以上かかる場合もあるとのこと。

14. 役員選任細則の見直しについて（協議事項）

2022年度の役員選任では、理事長推薦理事2名を選任するために臨時の社員総会を開催した。来年の役員選任では、定時社員総会で全役員を選任できる方法について協議を行った。定時社員総会の前に、選挙で選出された理事候補者と監事候補者による会議を開催し、新理事長候補者と新副理事長候補者を選定する。定時社員総会において選挙で選出された理事候補者と監事候補者の選任を行ったのち、総会を一時中断して新理事会を開催する。新理事会においては、新理事長と新副理事長を選定し、日本薬剤師会と日本病院薬剤師会から推薦された理事候補者

を確認すると共に、新理事長は2名以内の理事候補者を推薦する。再開した総会において、非選挙理事を選定することにより、すべての役員を決定することができる。中村副理事長がこの流れで役員・理事長等選任細則の改正案を作成し、メールによる持ち回りで審議し、8月20日の社員総会で報告することとした。

16. 委員会報告（報告事項）

- ・ 薬学実務実習委員会

小佐野理事より、令和4年度改訂コアカリに対応すべく、委員会としての取組を検討中であるとの報告があった。

- ・ 倫理教育委員会

有田理事より、令和4年度改訂コアカリではヒューマニティ教育と臨床実践の繋がりが明記されたが、教育方法は各大学に委ねられているため、第8回大会で開催するワークショップにおいて、臨床実践につながる研究倫理教育について考える企画を準備中であるとの報告があった。

- ・ ICT教育委員会

乾理事長より、定款第34条第3項に基づき、次回理事会から木下委員長にオブザーバー参加を依頼することが確認された。※定款第34条第3項「学術集会の会長、委員会の委員長及び理事会が認めた者は、理事会に出席して意見を述べることができる」

- ・ 中長期ビジョンワーキンググループ

平田理事よりメンバーが1名減となったことの確認があり、入江理事よりワークショップ参加者が実質ワーキンググループとして活動している状況であること、若手メンバーの参加を歓迎するとの報告があった。

17. 担当理事報告（報告事項）

乾理事長より、ホームページでの情報公開内容について資料に基づき紹介された。

18. 理事長報告（報告事項）

- ・ The 11th Asian Association of Schools of Pharmacy (AASP) Conference (Aug. 4-6, 2023, Macau, China)

乾理事長より本年8月に開催されるAASP Conferenceについて概要が改めて資料に基づき紹介された。

19. 会員登録状況報告（報告事項）

事務局より資料に基づいて2023年7月21日時点の会員数の増減・会費納入状況が報告された。個人会員は759名で会費納入率88.0%、学生会員は74名で会費納入率は50.0%、機関会員は67件で会費納入率98.5%、賛助会員は8件で会費納入率100%であった。

以上の議事内容を明確にするため、本議事録を作成し、理事長及び出席監事がこれに署名捺印する。

2023年7月25日

一般社団法人 日本薬学教育学会

理事長 乾 賢一

監事 林 正弘